



川辺高同窓会報

発行
川辺高校同窓会本部

発行所
〒897-0221
南九州市川辺町田部田 4150
TEL0993-56-1151
FAX0993-56-1152
県立川辺高等学校

同窓会長就任のご挨拶



同窓会会長
森 田 剛

このたび川辺高校同窓会長をお引き受けることになりました昭和四三年卒の森田剛と申します。皆様ご存知のように大坪憲市同窓会長が突然ご逝去され、会員一同途方に暮れていました。会を運営していく上で後任の会長を早急に決めなければならず緊急評議委員会の席で推挙されお引き受けた次第です。浅学菲才、不安いっぱいではあり

ますが、大坪前会長の母校に対する熱い思いを受け継ぎ会員の皆様のご協力をいただきながら役目を果たしていきたいと思います。

私もたまに学校を訪れることがあります。校門をくぐりますと一瞬遠い昔の高校生に帰ったような気持ちになりますし、お会いする生徒の皆さんが立ち止まって大きな声で挨拶してくれる姿は、まことに気持ちの良いものです。ちよっと古い話になりますが、遠来の同窓生の方々からお声かけをいただき「生徒さんから礼儀正しく元気良い挨拶をいただきました。今時こん

な清々しい高校生を育てている我が母校、誇りに思えます。きつと良き社会人になることでしょう。」と感激されていました。

子供から大人になる大事な時期に「自律、端正、積極、公德」の校訓のもと、自己の夢実現、立派な社会人になるための教育が連綿と続いている事こそ伝統校と言われる所以でしょう。

ただ、近年憂慮される事があります。それは少子化、高校受験生の選択の多様化等により川辺高校を受験する子供が減少していることです。先ほども述べましたが先生方は生徒たちの夢実現、良き社会人育成のため一所懸命努力され県内でも有数の成果を上げているのですが、そのことが高校受験する子供さん、保護者の皆様に伝わっていないのではないかと推察されます。私ども同窓会は母校発展を



願い歴代会長さんを中心として物心両面で協力してききましたが、現在の母校の現状を鑑み、皆様にお願いたいことは友人、知人を誘い出して同窓会に参加いただき、できるだけ多くの同窓生が現在の川辺高校の様子を知っていただき、中学生や保護者の皆様へ広報いただければ受験生増加に寄与できるのではないかと考えます。皆さん、まず各地区同窓会に参加して現在の川辺高校の様子を知りましょう。

二〇二〇年、東京オリンピックの年に母校は一二〇周年の節目の年を迎えます。記念式典も計画されますが、これから実行委員会を立ち上げ同窓会としての協力体制も構築せねばなりません。

残された時間は二年を切りました。伝統ある川辺高校らしい記念式となりますように、皆様の絶大なるご協力をお願いいたします。

川辺高等学校に赴任して 受け継がれる伝統



人 尚 山 長 校 大

川辺高等学校の同窓会の皆さん、本年四月に第二八代校長として赴任しました大山尚人と申します。三月まで県立武岡台高等学校に教頭として勤務しておりました。もともと数学の教諭でありながら、旧制四中の流れを汲み、一八八年の歴史と伝統を誇る川辺高校で、校

長という職で勤務することには大変名誉なことであると同時に、重責を担い身が引き締まる思いです。また、私の両親が川辺の出身であり、父親は旧制中の卒業生であるという縁もあり、一生懸命頑張っていく所存であります。どうぞ、よろしくお願いします。

さて、今年六月に起きた大阪府北部地震により大きな被害がありました。また、六月末から七月初めの豪雨により、岡山、広島、愛媛をはじめ西日本各地で大きな被害がありました。被災

された方々の心中を察しますと、言葉も見つかりません。心からお見舞い申し上げます。七月下旬になっても、最高気温三五度を超える猛暑日が各地で観測されております。熱中症対策などをとっていただき、皆さん体調管理には十分に気を付けてください。

それでは、まず最初に今年三月に卒業した一〇三名の進路状況について述べます。

◎国公立大学 二八名合格
鹿児島大学、山口大学、香川大学、高知大学、長崎大学、佐賀大学、熊本大学、宮崎大学、琉球大学、北九州市立大学、山口県立大学、福岡県立大学、大分県立看護科学大学、熊本県立大学、名城大学

◎私立大学 七七名合格
鹿児島国際大学、鹿児島純心女子大学、志學館大

学、第一工業大学、国際武道大学、帝京平成大学、帝京科学大学、日本大学、神奈川大学、神戸学院大学、岡山理科大学、広島国際大学、日本赤十字九州国際看護大学、福岡大学、福岡工業大学、国際医療福祉大学、西南女学院大学、久留米工業大学、九州女子大学、長崎外国語大学、長崎国際大学、熊本保健科学大学、崇城大学

◎国公立短大 六名合格
鹿児島県立短大、大分県立芸術文化短大

◎私立短大 二四名合格
鹿児島純心女子短大、鹿児島女子短大、鶴川女子短大、山野美容芸術短期大、福岡こども短大、久留米信愛短大、長崎短大

◎文科省所管外大学校等 六名合格
九州職業能力開発大学校、鹿児島県立農業大学

校、鹿児島県立始良高等学校、技術専門学校

◎専門学校 三二名合格

◆医療系・看護系

(理学療法、作業療法、歯科衛生士、柔道整復師、栄養士、看護)

◆その他 七名合格
(美容、医療秘書等)

◎公務員 一名採用

枕崎市職員

結果を示すのは容易ですが、ここに至るまでには、生徒、教師、保護者等の様々な思いがあり、生徒が教師の指導に素直に従い、最後まで粘り強く取り組んだ努力がありました。正直によく頑張ったと思います。

部活動ですが、なぎなた部が今年度も県大会で、団体で連覇を達成しましたが、個人は演技・競技いずれも優勝を逃してしまいました。しかし六月の九州高校総体では団体第三位とな

りました。全国高校総体での活躍が楽しみです。水泳部も九州大会に出場しました。野球部は県で二〇校しか参加できないNHK旗争奪選抜大会に選出され出場しました。音楽部等、他の部もよく頑張つて、文武両道を実践しています。

同窓会の皆さんから見れば、伝統を誇る川辺高校としては、進路状況や部活動の結果が少々物足りないかも知れません。学校の現状を少し述べさせてもらいますと、南薩地区の少子化が進み、平成二年より一学年四学級に、平成二五年より一学年三学級に、今年は募集定員は三学級でしたが実際に入学してきた生徒が六三名で二学級になっています。進路に関しては、少数精鋭という言葉もありますように私たちの努力不足もあると思います。ただ、部活動においては人数不足

で、三年生が引退し、新チームになった野球部やサッカー部などでチーム編成ができない状況になってきています。文武両道という面からも、入学者を増やすということが川辺高等学校の喫緊の課題になっています。

次に、私が赴任してから学校の概況について述べます。

◎入学式（四月九日）

生命の息吹きがみなぎる中、真新しい制服に身を包んだ六三名の新入生を迎えて、第七三回入学式を挙行了しました。新入生は、緊張気味の表情ながらも、高校生活への期待と決意を持って式に臨んでいました。

式辞の中で、論語から「子曰く、君子は和して同せず、小人は同して和せず。」という言葉を紹介し、「本校を愛する心を持って欲しい。」「規律ある正しい生活

習慣のもとで規範意識を持つ。」「志を高く持つて、自ら積極的に学ぶ姿勢を身につける。」という三つの呼びかけをしました。

◎創立記念講演会

（四月二日）

東享氏（第一八回昭和四一年卒・関西同窓会）を講師にお招きし行われました。体験談等を講演され生徒は聞き入っていました。

また、生徒にもなじみの深いダンボー・バージョンのモバイルバッテリーを作った会社の社長さんだということを知り、偉大な先輩方がいることを改めて実感していました。

◎文化祭（六月一二日）

短い準備期間にも拘わらず生徒も職員も保護者の方々も一生懸命に協力してくれました。来場者も多く、非常に良かったと思います。

一年生は顔はめパネルや

ペットボトルアートの他、全員で、来年度鹿児島でも開催される全国高校総体の高校生生活動旗の綿棒アートを作成しました。

二年生は、各地域の店舗の商品、食材等のバザーを行いました。また、各地域をアピールするコマース作りにも取り組みました。三年生は、演劇やダンスを中心とする舞台発表を行いました。

その他にも、書道部のパフォーマンス、ESS部の映像、トロンボーン演奏、放送部の朗読劇、サイエン同好会の実験、音楽部の演奏会、美術部員・書道部員や科目選択者の作品展示、図書委員会、新聞委員会、家庭科学習発表の展示などがありました。

どれをとっても高校生らしい純真で素晴らしい内容だったと思います。また、保護者の皆様にも

「かあちゃん食堂」の協力をいただきました。本当にありがとうございました。

現在、学校では生徒会執行部を始めとして、部活動も新体制となり、元気に懸命に練習している姿がいつものように見受けられます。時代が推移して取り巻く環境も変わり、集う生徒が交代しても、培われる精神は、神戈陵魂としていつの時代も継承されています。

最後になりますが、地域により一層期待され、信頼される学校となるよう、生徒・職員が心を一つにして教育活動を展開してまいります。これまで同様、深い御理解と御支援をお願い致します。

川辺高等学校のさらなる飛躍と本部同窓会の、ますますの御発展を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうぞ今後ともよろしく願います。

川 辺 同 窓 会

上久保貞伸
(平成七年卒)

平成二九年八月五日(土)

一八時より「宴会おかの」において平成二九年度川辺高校同窓会総会が開催されました。今年の幹事は、男性のみで平成七年の卒業生が担当幹事となり準備等を行っていました。

天気予報で総会翌日に台風五号が再接近すると報道されたため、大坪憲市同窓会会長と総会開催の有無を検討しました。結果、参加者はきつと来てくれるとの思いが勝り、開催することを決定しました。

総会は、大坪同窓会会長、東郷孝仁校長先生の挨拶で始まり、平成二八年度の会務報告、会計決算・監査報告、平成二九年度活動計画案、予算案等が審議され、全て承認され総会を閉じま

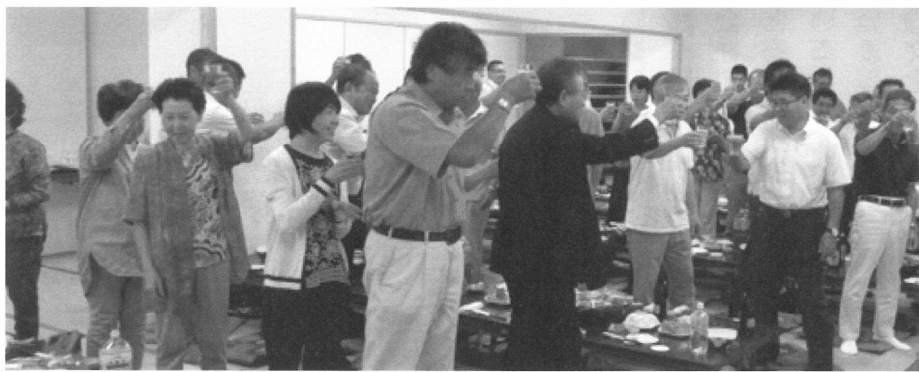
した。

引き続き懇親会が代表幹事の挨拶のあと、高田政雄同窓会副会長の乾杯の音頭で始まりました。久しぶりに再会した同級生や先輩方との思い出話に花を咲かせて会が盛り上がる中、東郷校長先生が引き続き川辺にまつわる話を講義してください、その後、前田利久教頭先生が加世田高校とのスポーツ交歓会等の映像を流してください、在校生の日常を知ることができました。

また、七月九日に南九州市で開催されたNHKのど自慢において川辺高校の制服を着て「高校三年生」を歌われた八名のうち代表で小園義文さん(昭和四六年卒)が詩吟を披露し、また、

会場みんなで「高校三年生」を合唱しました。

しばらく歓談後に参加者全員で旧制川辺中学校校歌、川辺高等学校校歌を斉唱した後、川辺高校の今後の更なる発展を祈念して、



神戈陵塾の講師を務めた上野博文さん(平成一〇年卒)のご発声により参加者全員で万歳三唱をし、同窓生の皆さんとの来年再会できることを祈念し、また、創立一二〇周年に向けて皆で強力していくことを誓い同窓会が閉じられました。

今回の同窓会は台風接近による荒天だったにもかかわらず

福岡同窓会

今村 哲一
(昭和四九年卒)

平成二九年一〇月二一日(土)、天神スカイホール一六階「ウエストルーム」で第二九回鹿児島県立川辺高等学校福岡同窓会が開催されました。

台風二一号の影響も心配されましたが、例年のごとく「一〇月の第三土曜日一四時から」の開催となりました。来賓として、本部同窓会から高田政雄副会

わらず、盛会のうちに終了できましたのも、同窓会会長をはじめ役員の方々と同窓会事務局の先生方や関係各位のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。最後になりましたが、母校川辺高校が今後も力強く発展していきますことを御祈念致しまして報告とさせていただきます。

長、本校から東郷孝仁校長先生、同窓会担当の渡辺裕介先生の三名をお迎えし、福岡同窓会からは昭和二五年卒業の田代慶一郎先輩をはじめ、平成一七年卒業まで、また鹿児島から三名が駆け付け、総勢三四名の参加で盛大に開催されました。

本田正郎先輩(昭和三一年卒業)の名司会により、

上野修一福岡同窓会副会長（昭和四三年卒業）の開会のことばで始まり、亡師亡友への黙祷、佐多竹良福岡同窓会会長（昭和四三年卒業）の挨拶と続きました。上野副会長は、前回の東京オリンピックでマラソン銅メダルの円谷選手のコーチ畠野さん、今年四月ポストンマラソン三位の大迫選手と川辺にゆかりのある方々を紹介され、約五〇年間の因縁めいたものを感じるとのお話がありました。また、佐多会長からは、昨秋の産業医科大学病院長時のテレビ出演（？）のお話、また、ノーベル賞受賞者の話から日本のサイエンスを取り巻く環境変化の話がありました。

続いて来賓紹介、挨拶と続き、高田本部同窓会副会長からは来年度の中学卒業生が減少する為、生徒確保が厳しい環境であるとの話、また、大坪本部同窓会会長からのご伝言として、二〇二〇年の川辺高校創立一二〇周年へのご協力要請「しつかい貯めとってくいやんせ」の話がありました。また、東郷校長先生からは学校概況説明資料をもとに、生徒数の話（鹿児島高校六校の内、生徒数三〇〇名以下の高校が約半分）、川辺高校・加世田高校スポーツ交歓会（一勝一敗一引き分け）、高校から吹上浜海浜公園までの三三km遠行、進学状況（国公立だけがすべてではないが、約三割が合格）説明、五月の創立記念講演会の紹介、校史資料室の整備と今後活用の方性の説明。また運動部では、県高校総体柔道で川辺高校からた一人参加し活躍した紹介、全国高校総体出場の少林寺拳法、なぎなた部の活躍が紹介されました。その他、作

文・エッセイの紹介等々幅広く説明していただきました。

その後、旧校歌、新校歌の校歌斉唱。川元満郎先輩（昭和四一年卒業）の乾杯の挨拶では「同窓会とは、過去を思い出し懐かしんでいろいろな話をするが、これからの未来についても大いに話してもらいたい」との話があり、歓談に入りました。

歓談の中で、出席者全員「あいやらこいやら」の近況報告があり、永見彌瑩先輩（昭和三四年卒業）からは、前出の大迫選手と川辺（勝目）のかかわりを詳しく説明していただき、また、NHK朝ドラ「ひよっこ」のヒロイン有村架純さんと川辺（松崎）のかかわり等、探偵顔負けの身辺調査報告（？）がありました。また、フィギュアスケートで柚木司先輩（昭和三九年卒業）のお

孫さんが全日本ノービス選手権への出場報告もあり、「川辺高校」つながりのいろいろな情報を共有することができ、おおいに元気をいただきました。

その後、全員で「第六応援歌」を声高らかに歌い、万歳三唱、堀内勉先輩（昭和四二年卒業）の閉会のあいさつをもって福岡同窓会、無事終了しました。

今回の福岡同窓会が盛会のうちに終了できましたのも、遠路はる



ばるお越しいただきまし
た、本部同窓会、本校の皆
様、また、福岡同窓会の皆

様のご尽力、ご協力の賜物
と深く感謝申し上げます。

関西同窓会

大園 早夫
（昭和四一年卒）

平成二九年度の川辺高校
関西同窓会は秋晴れの好天
気に恵まれた十一月一二日
（日）に、新大阪駅近くに
あるワシントンホテルプラ
ザにて開催されました。初
孫の誕生で急遽帰鹿した方
や体調不良で二名の欠席者
がありました。前日から
の泊まり込みで出席された
池田さんはじめ総勢三三名
で開催致しました。来賓と
して、母校川辺高校の東郷
孝仁校長先生、同窓会係り
の渡辺裕介先生、大坪憲市
本部同窓会会長をお迎えし
ました。

第一部の総会では、岩屋
口大造会長から三名のご来
賓に対し、ご多忙の中ご臨

席いただいたお礼と、高齢
化している同窓会を、今後
若手の参加を呼びかけ活性
化に努めたいと抱負を述べ
られました。また、昨年
より始めた年会費につい
て、多くの方の賛同を得て
今年も二〇数名の方々から
納入いただいたことへのお
礼も添えられました。大坪
憲市会長は、少子化に伴い
生徒募集に苦勞している状
況の中、母校存続の危機を
訴えてこられました。今
年を乗り切れば改善の兆し
が見えるという話がありまし
た。三年後二〇二〇年には
創立一二〇周年を迎えるに
あたり是非皆様のお力添え
をお願いする一方で、自分

もかなり老化現象が出て
思ったように体がついて行
かなくなったこと、一二〇
周年を機に会長を後進に譲
りたいとの心情が吐露され
ました。何かしら名調子の
憲ちゃん節が影を潜めてし
まった様で寂しく感じまし
た。

来賓ご挨拶で東郷校長先
生から、現在の川辺高校の
現状について進学状況や部
活動及びボランティア活動
等頑張っている諸活動につ
いて報告がありました。ま

た、我が川辺高校を愛して
やまない校長先生は、後壇
で神戈陵についての歴史的
背景や神戈陵魂についての
由来を、別途資料を提示し
て講話をいただきました。
昨年お話しいただきました
神戈陵精神についての補足
となり、また一段と川辺高
校の存立精神が高揚し誇り
に思えるようになったひと
時でした。校長室の入口ド

アは自ら書き記した「神戈
陵塾」の資料を掲載し、い
つでもご覧下さいとのこ
とでした。同窓会係の渡辺
先生からは詳しい「学校概
要説明資料」を用意いただ
き、特に同窓会館校史資料
室の充実をお話しいただき
ました。単に資料としてた
め込んでいるのではなく関
覧しやすい状況を作り出し
ているようです。帰郷の折
には是非立ち寄ってください
とのことをお話をいただきま
した。

会計報告では、昨年度か
ら年会費を納入いただいた
分を収入の部に組み込み、
少し余裕ある会計になった
と恒光順子さんの報告があ
り、山ノ内樹さんの監査
報告も滞りなく終了しま
した。年二回ほどの親睦ゴ
ルフをしている活動報告の
後、第二部の懇親会に移り
ました。

二六年卒大先輩の植村剛

さんから、南薩の誇りある
我が母校に栄えあらんこと
を祈念した乾杯のご発声で
開演となりました。従来恩
師をお迎えしての講話をお
願いしていましたが、こ
の関西で活躍している方々
の講話にして三年目になり
ます。今年は、大仏師とし
てTVや展覧会等で全国的
に活躍している五五年卒向
吉悠睦さんが出演したNH
K番組「ぐるっと関西」で
のDVDを拝聴しました。

ご本人は展示会のため出席
叶いませんでした。が、仏像
の作り方や込められた思い
等、奥様との会話も交え分
かりやすく解説いただきま
した。

本部からご恵送いただいた
地元の焼酎「寿」「八幡」
を飲みながら、山ノ内さん
の司会で参加者からの一言
をお願いする場になりました。
まず最初に指名を受け
たのは、人目を惹く着物姿



で出席された黒田さんでした。母が織ってくれた大島紬で良い機会だと思いい出席したとのこと。今回も鹿児島から出席された茶園さんは、南日本新聞に掲載されたコラム「黒じよか」に大

坪会長さんの話題を提供、岩屋口会長は初恋の人が恩師の嫁さんになってしまったと酔いが廻ったのか大暴露、一気に盛り上がりました。お馴染み木原さんから、東郷校長先生の話に

運動する設立開校に祖父が関与した話、後は次々と指名を受け全員の登壇となりました。病氣・年金・葉趣味の話はもちろん、昔の高校時代の追憶や関西川辺会のホームページ、介護の話など近況や思いのたけを話し日頃の鬱憤・憂さを晴らす良い機会となり拍手喝采でした。同年輩の出席がなく一人で寂しいので東京同窓会同様何とか多く呼びかけ

たいと、一番若い岩田さんから話していただいたのは心強かったです。記念撮影の後、校歌を斉唱し再会を誓って散会しましたが、まだまだ話足りないと同ホテル一階のラウン

宮崎同窓会

松山 輝雄
(昭和三四年卒)

平成二九年度の川辺高等学校同窓会宮崎支部の総会・懇親会は、平成三〇年一月二八日(日)、宮崎市のホテルスカイタワーで開催されました。

ご来賓として、故郷川辺から、同窓会本部の森田剛副会長、学校から東郷孝仁校長、渡辺裕介教諭にご出席いただき、母校の現況や後輩の活躍振りを伺い、故郷を懐かしみ、年に一度の出会いを楽しむ、暖かい会となり、一同、心から喜び、感謝しております。

ジで、またまた大宴会別れづらい一日となりました。また皆さんと来年の一月第二土曜日に再会出来ます様、母校と同窓会の発展を祈念し報告とします。

恒例の写真撮影のあと、

芝原正文会長の歓迎の挨拶があり、本部・学校からのご来賓のお話、特に校長先生の川辺中学・神戈陵の歴史的背景、文化的意義についてのお話は、今回久しぶりに参加してくれた大学生の若者だけでなく、年配の会員にとっても力強く心に残りました。

また、生徒絶対数減少の現在の環境、そのなかでの生徒たちの活躍、先生方の奮闘振りについての力強いお話を伺うことができました

た。

「私たちの今」の礎である母校の逞しさに触れるとともに、恩返し気持を更に感じました。議事のあと、それぞれの



参加者の皆さんの、ユーモアあふれる楽しい近況紹介を交えて、評判の日本料理やふるさとの香りと味の焼酎をいただきながら盛り上がる懇談のなか、最後は田代和民氏の指揮による「高校三年生」をはじめとする青春賛歌メドレーのあと、

東京同窓会

森山 昭利
(昭和四二年卒)

梅雨入り前ということもあり、快晴に恵まれた平成三〇年六月二日(土)、新宿ワシントンホテルで第四二回川辺高等学校東京同窓会の総会・懇親会が開催されました。

本総会は、直前に大坪憲市本部同窓会会長の急逝という悲報が届き、小原会長以下役員一同が大きな衝撃を受ける中で、準備作業を進めることとなりました。本部同窓会からは急遽森田

新・旧校歌の大合唱で名残りを惜しみながら散会となりました。

「繋がりに

繋がれること

繋がりたい」

ありがとうございます。

換を行いました。

総会・懇親会の参加者数は、最終的に、来賓を含めて昨年とほぼ同数の百八〇名に達しました。

総会に先立って、日本歴史文化研究所の松村秀明教授(昭和四六年卒)による、「西郷を育てた名君 島津斉彬」と題した特別講演がありました。おりしもテレビの大河ドラマで「せごどん」が放映されていることもあり、余裕を見て一一〇脚用意してあった会場の席が、アツと思う間に満席となったため、スタッフは大慌てで追加の椅子を運び込み、最終的には一五〇名以上が聴講することとなりました。

講演では、本題に先立って、川辺高等学校の初代校長である、岩崎校長先生についての詳しい話を紹介し、講師が入念な調査・研究を行ったことをうかがわ

せました。本題でもときおりジョークを交えた軽妙な語り口は、教授という堅苦しいイメージの肩書とは大きく異り、親しみやすさを感じさせ、出席した同窓生たちも熱心に聞き入っていました。

続いて総会・懇親会会場において、川辺高等学校を昭和五三年に卒業して、東京や宇都宮を中心にジャズのライブ活動をしているミーナさん(小林美知代)によるミニコンサートが開かれました。限られた時間の中で、オリジナルの曲を歌った後には、昭和五二年に川辺高等学校を卒業した姉の野中ゆかりさんとのデュエットで、ザピーナッツのヒット曲「恋のバカンス」を熱唱し、出席者からは一緒に口ずさんだり、昔を懐かしんだりする声が聞かれました。

その後、小原会長を議長

として総会の議事に移り、恒例の物故者への黙禱に続いて、小原会長から大坪本部同窓会長の逝去を悼む言葉と、前夜の交流会での議



論の紹介を含めた挨拶がありました。続いて、昨年度の会務報告、会計報告、会計監査報告が行われ、議案のすべてが参加者全員から異議なく承認されました。

続く懇親会は、年度幹事である昭和五〇年卒の滝山一成さんと加瀬美千代さんの司会で始まり、九名の来賓の方々が紹介されました。

その後、森田剛本部同窓会副会長より、故大坪会長の葬儀の様子と東京同窓会から弔意に対する感謝の言葉と、来年の創立一二〇周年事業について、母校への支援を要請する旨のご挨拶がありました。

続いて、大山尚人校長先生が、平成三〇年の入学者が大幅に減少した結果、一学年二クラスが現実のものとなったことなど、母校の現況を紹介されました。

その後、平成三〇年卒業

で関東地域の学校に入学した、四名の新入会員が紹介され、それぞれが壇上で自己紹介を行いました。

次に総会の担当年度幹事の紹介があり、昭和二十七年卒の君野満明先輩の音頭で、参加者が待ちかねていた乾杯を行った後、年次別に分かれたテーブルでの懇談に移りました。

ホテルの料理に先駆けて、刺身こんにゃく、つけ揚げが並ぶと、用意されたイモ焼酎も加わって、どのテーブルも一挙に盛り上がりしました。

宴たけなわにさしかかると、有志の女性陣が着物やハッピー姿で、テーブルの間を縫って「おはら節」などを踊り始め、待ち構えていた男性陣も踊りの輪に加わり、会場は熱気の渦に包まれました。

懇親会の終盤には、新旧の校歌を昭和三八年卒の堂

園俊秋先輩の指揮のもと会場全員で斉唱し、昭和三〇年卒の井料和彦先輩が音頭を取っての万歳三唱のあと、昭和四十一年卒の峯苦副

南九州市職員神戈陵会

書記会計
五反田朗浩
(昭和五八年卒)

南九州市職員等神戈陵会は、母校の発展に寄与することを目的に、南九州市役所職員と指宿南九州市消防組合職員で構成され、平成三〇年六月一日現在で八七名が加入しています。

第三八回市職員等神戈陵会総会は、六月八日(金)に「宴会オカノ」で開催されました。

轟木慎一会長の挨拶の後、平成二九年度事業経過報告、収支決算が報告され、新年度の事業計画、収支予算案等の議案が無事に承認されました。

今年度から会費を上げた

会長による閉会のあいさつをもって第四二回東京同窓会総会・懇親会は終了しました。

関係で、予算的に多少余裕ができ、在校生への応援も可能な限り継続できるようになりました。

今回の総会では、二年後に迫る一二〇周年記念事業積立金の増額、事業計画では、記念事業に向けた活動の協力等が承認され、今後の協力体制も整ってきたところでした。総会後の懇親会には、川辺高校同窓会から東眞宏副会長、川辺高校より大山尚人校長・前田利久教頭・渡辺裕介教諭が参加して下さり、交流を深めることができました。ちなみに、東副会長は、旧町役場



のOBであるとともに、神
戈陵会の会長も過去されて
おり、我々の良き大先輩で
もあります。

来賓の方々からは、卒業
生、在校生の進路状況や部
活動の報告等、頑張ってい
る様子を報告していただき
ました。今後の課題として、

地元中学からの進学数の減
少が、課題になっていると
のこと、地元で生活してい
る自分たちの意識も変え
ていかないと、問題の解決
にならないと感じました。
そして、今回の総会には、

南さつま地区神戈陵会

中馬 悟
(昭和五三年卒)

平成三〇年度川辺高等学
校南さつま地区神戈陵会は
七月一四日(土)午後六時
半より南さつま市加世田地
区の中心部でレストランを
経営する今村勝徳氏(昭和
三九年卒)のブルドッグで

私たちの母校に対する活動
に賛同され、知覧神戈陵会
にも加入している今春入庁
した職員(折田裕斗さん)
が参加して下さいました。
今後とも知覧神戈陵会との交
流を深めながら一つの組織
となるよう取り組んでいく
必要があると思います。

最後に、川辺高校と川辺
高校同窓会並びに神戈陵会
の益々の発展を祈念いたす
とともに、永年、川辺高校
同窓会長としてご活躍いた
だいた故大坪憲市様のご冥
福をお祈りいたします。

開催されました。学校側よ
り大山尚人校長先生、前田
利久教頭先生、内菌和浩先
生(野球部長)、渡辺裕介
先生(同窓会係)が出席し
て下さいました。そして、
本部同窓会新会長の森田剛

(昭和四三年卒)にご出席
をいただき、ご挨拶と活動
状況の説明をいただきました。
た。

西浩二幹事長(昭和四八
年卒)の会計報告があり、
全体総会が終了して懇親会
にうつりました。次に、大
山尚人校長先生より学校側
で作成された

学校概況資料
をもとに詳し
く説明があり
ました。平成
二九年度大学
合格者数、国
公立大三〇
パーセントの
進学率など
を聞き、頼も
しくうれし
い事と感
じまし
た。

部活動で
は、なぎなた
部の活躍や、
当日県大会の

試合のあった野球部が鶴丸
高校で九回逆転をゆるし、
残念な思いを内菌和浩野球
部長からの報告もあり、会
場は大いに盛り上がりまし
た。

西日本豪雨の災害にお見
舞いを込めて先人たちの偉
業を讃え、坂下勝郎(昭和

三一年卒)の締めで盛会の
うちに九時頃に閉会しまし
た。本部同窓会より一番近
くにある南さつま神戈陵会
を、地区の多くの同窓生に
呼びかけ、若い方が集まり
母校について語っていくよ
うな会を続けたいと感じて
おります。



部活動報告

【バドミントン部】

二年 原口 永遠

私たちバドミントン部は男子九名、女子七名で顧問の寺田先生のご指導のもと



と、日々の練習に励んでいます。

平日はフットワークや基礎的な練習に一生懸命取り組んで、体育館が使えない日は校内や校外を走って体力を向上させ、その後は素振りなど毎日ラケットを握るようにしています。休日は校内を走り、その後、平日の練習をより充実させた練習を行っています。

五月に行われた地区大会では、女子が団体で三位入賞、個人戦のダブルスでは男女で一ペアずつ三位入賞と結果を残すことができました。

そして、三年生が引退して、新チームとなり最初は戸惑いがあり不安でしたが、今では全員が協力し合って日々の練習に取り組んでいます。現在一年生はフットワークや打ち方などの基礎を固め、二年生は自身の技術の向上を目的として練習しています。部員一人一人がそれぞれの目標を立てそれに向かって一生懸命努力しています。今後も部の目標である県大会ベスト一六以上を目指して日々頑張っていく予定です。応援よろしくお願いします。

【男子バスケットボール部】

二年 山下慎之助

私たち男子バスケットボール部は顧問の大畠先生のもと、チーム一丸となって毎日の練習に励んでいます。平日の練習は、一人一人のスキルを磨き上げる練習をし、週一回の外練

習の時は、体力向上のために外周三キロを走っています。休日の練習では主に基礎練習や、チームプレートの練習を行い、数々の試合で勝利をおさめることができました。

三年生が引退した後、一・二年生の新チームで今まで以上に努力を積み重ねています。人数が少ないうえでも地区一位になれるぐらいのチームであり、目標は県大会ベスト八進出です。もちろん部活動だけでなく、学習面においても努力をしています。このことをふまえて、チーム全体の



スローガンは「一意奮闘」、一つのことに集中し、一つのことに全力を尽くすということです。これからも男子バスケットボール部は一生懸命頑張っていく予定です。応援よろしくお願いします。

事務局だより

【平成二九年度神戈陵教育振興会奨学生決定の報告】

平成二九年度「神戈陵教育振興会奨学生」として、二年生の小山愛斗君（川辺中卒）、黒瀬心之介（知覧中卒）、飯野公太君（知覧中卒）、一年生の岡野真子さん（川辺中卒）、栄村茉莉香さん（枕崎中卒）、實代千夏さん（知覧中卒）に決定し、認定書及び奨学金が交付されました。

【平成三〇年度のスタート】

四月九日（月）、第七三回入学式が本校体育館で行われ、新入生六三名を迎え、全校生徒二五〇人（男子一一三名 女子一三七人）で平成三〇年度がスタートしました。また、当日、校長室で優秀な成績で



入学した上牧千笑さん（川辺中卒）に、神戈陵教育振興会から認定書及び奨学金が交付されました。

【創立記念講演会】

四月二一日（土）、創立記念講演会が開かれました。今回は、大阪で会社を経営されている東亨氏（昭和



四一年卒）をお招きし、「企業の新製品開発へのチャレンジとプロセス及び海外企業との接点」という演題でご講演いただきました。

講演では、高校時代に自転車で行った、海外へ行くことを目指したこと。そして、一四年後にアメリカに渡って働いたこと。帰国後は起業して海外との取引を行っていること。新製品を開発するチャレンジの意義、そして、海外企業と



の取引についてお話ししてくださいました。生徒にとつては、普段聞くことができない海外の話やビジネスの話ばかりで、将来を考える上でとても良い刺激になりました。

【平成三〇年度神戈陵教育振興会奨学生決定】

七月一二日（木）、三年生を対象にした神戈陵奨学生の選考委員会が開かれ、飯野公太君（知覧中卒）、

小山愛斗君（川辺中卒）の二名に決定し、七月二〇日（金）、校長室で交付式を行いました。

【お知らせ】

平成三〇年度
中学生川辺高校体験入学

七月二七日（金）

六五名

保護者 一二名

八月二四日（金）

五六名

保護者 一五名（予定）

多くの方の受験をお待ちしています。

○各地区同窓会の今後の予定

（決定している地区のみ）

福岡同窓会

平成三〇年一〇月二十日

（土）一四時

鹿児島同窓会

平成三〇年一〇月二七日

（土）十八時

※ 場所は支部にお問い合わせください。

収入の部 **平成 29 年度 川辺高等学校同窓会会計決算書** (単位：円)

費 目	予算額①	決算額②	増減 ② - ①	備 考
入 会 金	120,000	63,000	△ 57,000	1,000 円× 63 人 (新入生)
会 費	208,000	206,000	△ 2,000	2,000 円× 103 人 (卒業生)
総 会 費	350,000	202,000	△ 148,000	同窓会総会参加費
繰 入 金	2,000,000	2,000,099	99	特別積立基金より繰入
繰 越 金	989,806	989,806	0	前年度繰越金
雑 収 入	194	30,013	29,819	利息、寄付金
合 計	3,668,000	3,490,918	△ 177,082	

支出の部 (単位：円)

費 目	予算額①	決算額②	増減 ② - ①	備 考
総 会 費	500,000	356,885	△ 143,115	総会費・同窓会チラシ代他
会 議 費	30,000	8,312	△ 21,688	役員会会議費
需 用 費	120,000	125,400	5,400	同窓会報印刷代・事務消耗品代
通 信 費	15,000	8,680	△ 6,320	はがき代
慶 弔 費	100,000	169,760	69,760	教職員転出者記念品代、故同窓会長の供花・告知代
旅 費	400,000	292,353	△ 107,647	東京、関西、福岡、宮崎同窓会等への旅費
負 担 金	250,000	202,000	△ 48,000	各地区同窓会等への負担金他
高校振興費	2,000,000	766,000	△ 1,234,000	活性化対策事業補助 500,000 円 文化祭補助 50,000 円 その他高校の振興に関する費用
雑 費	60,000	44,080	△ 15,920	各地区同窓会等への土産代他
予 備 費	193,000	0	△ 193,000	
合 計	3,668,000	1,973,470	△ 1,694,530	

収 入 3,490,918 円 支 出 1,973,470 円 繰越金 1,517,448 円 (翌年度へ繰越)

特別積立金残高
 特別積立基金 川辺高校同窓会 (鹿児島銀行：定期預金) 1,000,424 円
 特別積立基金 110 周年川辺高校活性化基金管理会 (ゆうちょ銀行：定期預金) 6,053,612 円

収入の部 **平成 30 年度 川辺高等学校同窓会会計予算書 (案)** (単位：円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
入 会 金	120,000	120,000	0	1,000 円× 120 人 (新入生)
会 費	180,000	208,000	△ 28,000	2,000 円× 90 人 (卒業生)
総 会 費	250,000	350,000	△ 100,000	同窓会総会参加費
繰 入 金	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	特別積立基金より繰入
繰 越 金	1,517,448	989,806	527,642	前年度繰越金
雑 収 入	552	194	358	利息等
合 計	3,568,000	3,668,000	△ 100,000	

支出の部 (単位：円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
総 会 費	400,000	500,000	△ 100,000	総会費
会 議 費	30,000	30,000	0	会議費
需 用 費	130,000	120,000	10,000	会報印刷代・事務消耗品等
通 信 費	15,000	15,000	0	切手・はがき代等
慶 弔 費	100,000	100,000	0	教職員転出者記念品代等
旅 費	330,000	400,000	△ 70,000	東京、関西、福岡、宮崎同窓会等への旅費
負 担 金	230,000	250,000	△ 20,000	各地区同窓会等への負担金
高校振興費	900,000	2,000,000	△ 1,100,000	活性化対策事業補助 500,000 円 文化祭補助 50,000 円 その他高校の振興に関する費用
雑 費	60,000	60,000	0	各地区同窓会等への土産代等
120 周年特別会計への繰出金	1,000,000	0	1,000,000	120 周年記念事業経費のための繰り出し
予 備 費	373,000	193,000	180,000	
合 計	3,568,000	3,668,000	△ 100,000	

各 地 区 同 窓 会 連 絡 先

事務局 川辺高等学校

TEL0993-56-1151

〒897-0221 鹿児島県南九州市川辺町田部田4150 FAX0993-56-1152

川 同 窓 会	会長 剛宏三子 副会長 嗣子 会長 毅雄 副会長 誠規 会長 功充 副会長 一久 会長 也修 副会長 き彦 会長 三藏 副会長 子正 会長 夫郎 副会長 美介
東 同 窓 会	会長 東洋明 副会長 昭也 会長 寛哲 副会長 信
東 同 窓 会	会長 志夫 副会長 輔彦 会長 造芳 副会長 子美 会長 良勉 副会長 一
関 同 窓 会	会長 岩屋口 副会長 大弘 会長 由美 副会長 早夫 会長 修洋 副会長 一
熊 同 窓 会	会長 酒梅丸 副会長 野 会長 正十 副会長 政輝
宮 同 窓 会	会長 芝泊和松 副会長 加治佐 会長 田添口 副会長 中松師 会長 東野尾 副会長 馬
鹿 児 島 同 窓 会	会長 洋マ 副会長 リ悦逸 会長 俊武 副会長 慶志 会長 三郎 副会長 嗣二 会長 悟
南さつま地区同窓会	会長 上中西 副会長 松久保 会長 坪山見 副会長 昭榮
知覧地区同窓会	会長 松久保 副会長 坪山見 会長 昭榮
枕崎・坊津地区同窓会	会長 中吉森戸